

見 積 依 頼 書

分任支出負担行為担当官
陸上自衛隊中央会計隊
契約科長 清田 哲也

以下のとおり見積を依頼します。

1 見積依頼

契約実施計画番号		調 達 要 求 番 号		物 品 番 号		仕 様 書 番 号	
6K6Z12A80070		61UD1C02073 0001					
品名 または 件名							
産業廃棄物の収集・運搬及び処分役務（被服）							
部品番号 または 規格							
仕様書のとおり							
使 用 器 材 名							
予定数量	単位	銘 柄	使 用 期 限 等	グ ル ー プ	指定	検査	包装
8,000.00	KG				0		
納地または工事場所			引 渡 場 所				
市ヶ谷			中業支				
搬 入 場 所			納 期 ま た は 工 期				
			令和9年3月31日（水）				

2 契約条項を示す場所

陸上自衛隊中央会計隊契約科事務室及び中会ホームページ(<https://www.mod.go.jp/gsdf/dc/cfin/html/>)

3 説明会及び提出の日時場所

説明会日時場所：

提出日時場所 ： 令和8年7月28日（火）10時00分 中央会計隊契約科事務室

4 決定方式及び契約方式

決定方式：単価 契約方式：随意契約

5 注意事項

(1) 参加資格

「陸上自衛隊オープンカウンター方式実施要領」第5条による。

(2) 見積の方法

落札決定にあたっては、見積書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数がある時には、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を見積書に記載すること。

(3) 契約書作成の要否

ア 作成する。

イ 適用する契約条項

駐屯地用標準契約書

「役務請負契約条項」

「談合等の不正行為に関する特約条項」

「暴力団排除に関する特約条項」

「単価契約に関する特約条項」

(4) その他

ア オープンカウンター参加希望者は令和8年7月27日（月）12時までに「参考見積書（様式随意）」、「産業廃棄物収集運搬業許可証」及び「産業廃棄物処分業許可証」を提出すること。

イ 不明事項の問い合わせ先

中央会計隊契約科第2契約班 前原 (TEL：03-3268-3111 内線47566)
(FAX：03-5269-5135 (直通))
(rikuzi2-cfin@inet.gsdf.mod.go.jp)

仕様書に関する問い合わせ先

中央業務支援隊管理部管理科 藤川 (TEL：03-3268-3111 内線)

見 積 書

調達要求番号	61UD1C02073	契約実施計画番号	6K6Z12A80070
--------	-------------	----------	--------------

金 額 ¥ 単価 (税抜)

品 名	規 格	単位	数量	単 価	金 額
産業廃棄物の収集・運搬及び処分役務(被服)	仕様書のとおり	KG	1		
【内訳】					
収集運搬費					
処分費					
	以下余白				
納 入 場 所	市ヶ谷	納 期	9.3.31		
契 約 保 証 金	免除	見積書有効期間			

上記の公告又は通知に対して「入札及び契約心得」及び「標準契約書等」の契約条項等を承諾のうえ見積いたします。

また、当社(私(個人の場合)、当団体(団体の場合))は「入札及び契約心得」に示された暴力団排除に関する誓約事項について誓約いたします。

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官
陸上自衛隊中央会計隊
契約科長 清田 哲也 殿

住 所
会 社 名
代 表 者 名
担 当 者 名
連 絡 先

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書		
産業廃棄物の収集・運搬及び処分役務（被服）	仕様書番号	
	中業支補一030037	
	作成年月日	令和8年6月17日
	変更年月日	
	作成部隊等	中央業務支援隊管理部管理科

1 総則

1.1 適用範囲

本仕様書は、陸上自衛隊市ヶ谷駐屯地において廃棄予定の産業廃棄物（以下「廃棄物」という。）の収集・運搬及び処分について適用する。

1.2 用語の定義

本仕様書に用いる用語の定義は、陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書GLT-CG-Z000001の1.2による。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 仕様書

GLT-CG-Z000001

b) 法律

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）

2 収集・運搬

契約の相手方の許可されていない廃棄物が発見された場合は、速やかに契約担当官等に報告するものとし、その廃棄物については、収集・運搬を行わないものとする。

3 資格要件

契約相手方は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定める産業廃棄物の収集運搬及び処分の許可を有するものとする。

4 処分に関する要求

4.1 引渡し場所

処分品の引渡し場所は、調達要領指定書による。

4.2 種類・重量等

処分品の種類及び予定重量等は、調達要領指定書による。

4.3 請負業者の負担

作業に必要な器材・用具は、契約相手方の負担とする。

4.4 その他の指示

その他、特に指示する事項がある場合は調達要領指定書による。

4.5 処分の条件

- a) 契約相手方は、契約担当官等から委託された産業廃棄物の運搬開始から最終処分完了まで適正に処理するとともに、法令等に違反した処理によって契約担当官等又は第三者に損害を及ぼした場合は、請負業者においてその損害を賠償するものとする。
- b) 契約相手方は、自社焼却炉又は提携焼却炉まで、直接搬入するものとする。
- c) 運搬及び焼却炉への投入まで検査官等が立ち会うものとする。
- d) 処分完了後は焼却完了を証明する証明書類（様式随意）を発行し、契約担当官等に提出するものとする。

5 管理事項

契約担当官等と契約相手方は、産業廃棄物の引渡しに際し、産業廃棄物管理票（マニフェスト）への記載事項をお互いに確認後、積載するものとする。その際、契約相手方は署名・押印したA票を契約担当官等に提出する。

6 仕様書に関する疑義

本仕様書の内容について疑義が生じた場合は、契約担当官等を確認するものとする。

7 その他の指示

7.1 提出書類

提出書類は、次による。

a) 役務実施者名簿

収集・運搬を実施する都度提出する。様式は、付表による。

b) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）

収集・運搬を実施する都度提出する。ただしB2・D票は収集日より30日以内に提出し、E票は収集日より60日以内に提出するものとする。

c) **焼却完了証明書** 焼却完了後焼却完了を証明する証明書類を発行し、契約担当官等に提出する。
様式は随意とする。

7.2 保全等

- a) 作業従事者のうち保全上の観点から駐屯地に入門する者は、日本国籍を有し、かつ日本語で意思疎通ができるものとする。
- b) 庁舎内への出入り及び施設への立ち入りについては、官側担当者の指示に従い、関係規則等に基づく手続きを行うとともに、諸規定に従うものとし、立入りを禁止した区域及び業務に関係のない施設への立入りを禁止する。
- c) 契約を履行する上で知り得た情報を他の者に漏らしてはならない。また、契約終了後も同様とする。

役 務 実 施 者 名 簿

番号	氏名	年齢	現住所	車種・車番

実施責任者（部署、氏名、現住所、連絡先）

契約者（所在地、会社名、代表者名印）

付表 役務実施者名簿の様式

調達要領指定書	調 達 要 求 番 号	61UD1C02073
	調 達 要 求 書 作 成 年 月 日	令和8年7月10日
	要 求 部 課	中央業務支援隊管理部管理科
	作 成 年 月 日	令和8年6月17日
品 名	産業廃棄物の収集・運搬及び処分役務（被服）	
仕様書番号	中業支補—030037	

指定事項

4.1 引渡し場所

市ヶ谷駐屯地：東京都新宿区本村町5番1号 細部は調整による。

4.2 種類・重量等は以下のとおり

引渡し場所	種 類	予定重量計
市ヶ谷駐屯地	廃プラスチック類 (各種制服、靴、迷彩服等)	8,000kg

4.4 その他の指示

- (1) 収集時期の指定：回収する1週間前までに連絡する。
- (2) 持込品の引渡し：契約相手方及び官側の相互で現物を確認し官側の準備した受領書をもって異動を明らかにする。
- (3) 産廃の積込は官側が実施する。

< 表 面 >

管理番号.....

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 2026年 7月 10日

記入者 藤川 孝二

1 排出事業者	名称 陸上自衛隊中央業務支援隊 所在地 〒162-8802 東京都新宿区市谷本村町5-1	所属 管理部管理科補給班 担当者 藤川 孝二	TEL 03-3268-3111(内47010) FAX 03-3260-5688
2 廃棄物の名称	制服		
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載)	主成分 廃プラスチック類、金属くず、人工皮革他		MSDSがある場合、CAS No.
☐ 分析表添付(組成)	・成分名と混合比率を書いて下さい。ばらつきがある場合は範囲で構いません。 ・商品名ではなく物質名を書いて下さい。重要と思われる微量物質も記入して下さい。		
4 廃棄物の種類 ☒ 産業廃棄物 ☐ 特別管理産業廃棄物	☐ 汚泥 ☐ 廃油 ☐ 廃酸 ☐ 廃アルカリ ☒ その他(廃プラスチック類、金属くず、人工皮革) ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 ☐ 石綿含有産業廃棄物 ☐ 水銀使用製品産業廃棄物 ☐ 水銀含有ばいじん等 ☐ 引火性廃油 ☐ 強アルカリ(有害) ☐ 指定下水汚泥 ☐ 廃酸(有害) ☐ 引火性廃油(有害) ☐ 感染性廃棄物 ☐ 銲さい(有害) ☐ 廃アルカリ(有害) ☐ 強酸 ☐ PCB等 ☐ 燃えがら(有害) ☐ ばいじん(有害) ☐ 強酸(有害) ☐ 廃水銀等 ☐ 廃油(有害) ☐ 13号廃棄物(有害) ☐ 強アルカリ ☐ 廃石綿等 ☐ 汚泥(有害)		
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ ☐ 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)		
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当 (非該当))、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。		
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質：ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) ☐ ヘキサメチレンテトラミン(HMT) ☐ 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) ☐ N,N-ジメチルアニリン(DMAN) ☐ トリメチルアミン(TMA) ☐ テトラメチルエチレンジアミン(TMED) ☐ N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) ☐ ジメチルアミノエタノール(DMAE) 生成物質：クロロホルム(塩素処理により生成) ☐ アセトンジカルボン酸 ☐ 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) ☐ 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン ☐ アセチルアセトン ☐ 2'-アミノアセトフェノン ☐ 3'-アミノアセトフェノン 生成物質：臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) ☐ 臭化物(臭化カリウム等)		
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ ☐ 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) 銅 (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 ()		

9	有害特性 (有・無) 不明)	☐ 爆発性 ☐ 引火性(℃) ☐ 可燃性 ☐ 自然発火性(℃) ☐ 禁水性 ☐ 酸化性 ☐ 有機過酸化物 ☐ 急性毒性 ☐ 感染性 ☐ 腐食性 ☐ 毒性ガス発生 ☐ 慢性毒性 ☐ 生態毒性 ☐ 重合反応性 ☐ その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状() 臭い(無) 色() 比重() pH() 沸点() 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11	品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭
13	荷姿	☐ 容器() ☐ 車両() ☐ その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット・継続予定) () kg・t・ℓ・m³・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日
15	特別注意事項 (有・無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載 ・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法 ・他の廃棄物との混合禁止 ・粉じん爆発の可能性 ・容器腐食性の可能性／注意点 ・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性 ・環境中に放出された後の支障発生の可能性(消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等

【参考】 その他の情報

- ・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ **サンプル無** ・ 写真有)
- ・ 産業廃棄物の発生工程等
「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。
工程図への記入でも可。
(処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)

＜排出事業者及び処理業者内容確認欄＞

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

＜變更履歷＞

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容